

「ひろしま里山グッドアワード」の募集について

1 要旨・目的

「ひろしま さとやま未来博 2017」の「さとやま未来大賞」を引き継ぐ形で、中山間地域にあるものを活かして新しい価値の創造につなげている取組を表彰し、地域活動に対するモチベーションの維持を図るとともに、そのプロセスやノウハウを共有することによって、取組の更なる普及促進を図る。

2 現状・背景

第Ⅱ期中山間地域振興計画に基づき、全ての活力の源泉となる「人づくり」を3つの施策の柱のひとつとして重点的に取り組んでいる。

県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かした取組を、地域にもたらすことが期待される効果とともに可視化し、広く周知していくことによって、新たな活動の創出や磨き上げにつなげていく必要がある。

3 概要

(1) 対象

県内の中山間地域ならではの多様な資源を生かして、新しい価値やサービスの提供につなげている優れた活動（令和7年度中に活動した実績があるもの）であって、団体（非営利公益活動団体（法人格の有無を問わない。）、地域住民組織、企業等）又は個人が行う取組

(2) 事業内容（実施内容）

応募期間	令和7年5月14日（水）～令和7年6月30日（月）
応募方法	専用ホームページの応募フォームによる
一次審査 （書類選考）	7月下旬から8月中旬にかけて審査員及び県による選考会を実施し、応募の中から5件を選定 【審査員】 ○ 藻谷 浩介氏（株式会社 日本総合研究所 主席研究員） ○ 新里 カオリ氏（立花テキスタイル研究所 所長） ○ 指出 一正氏（株式会社ソトコト 代表取締役、『ソトコト』編集長）
二次審査 （一般投票）	一次審査を通過した5件の取組を対象に、一般投票を実施 ○ 期 間：令和7年9月15日（月）～10月31日（金） ○ 方 法：インターネットによる投票 ○ 賞の種類：さとやま未来大賞（1件）、 未来のたね賞（1件）、入賞（3件） （昨年度の投票総数：6,526票。うち大賞は1,923票獲得） ○ そ の 他：実践者の活動を広くPRする機会とする。
表彰式	令和7年11月22日（土）※ 三原市内で実施予定

(3) スケジュール

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
●HP開設、募集準備		●一次審査				●表彰式	
応募期間 5/14－6/30				二次審査 9/15－10/31			

(4) 予算（単県）

3,068 千円

4 その他（関連情報等）

(1) 過去の「さとやま未来大賞」受賞取組

取組の名称及び概要	団体名	
<u>お米と田舎を守るコミュニティ作り</u> 三原市大和町で、田植えや稲刈り体験、収穫祭「コメサントフェス」を通じて農業の大切さを町内外に発信するとともに、収穫祭では地域文化の体験機会を提供し、音楽や地元文化を取り入れたイベントを開催することにより、お米と田舎を守るコミュニティの形成や次世代への農業継承を目指した取組	株式会社とまとうすコーポレーション 【三原市大和町】 令和6年度	
<u>島から始まる国際音楽祭～生口島魅力再発見プロジェクト</u> 生口島のベル・カントホールを主会場に、国内外で活躍するミュージシャンと地元の小学生、全国の高校生までの「音楽家の卵」、尾道ゆかりの演劇家・書道家・舞踊家らのコラボレーションによる音楽祭を開催するとともに、ホール前でマルシェを実施することにより、生口島における文化活動の促進を目指す取組	一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギア 【尾道市瀬戸田町】 令和5年度	
<u>安芸高田発、国内最大規模の竹チップ堆肥センターで里山資源活用</u> 放置竹林問題を解決しながら、里山から生み出される資源を活用し、竹チップ堆肥を製造することにより、里山資源の価値の最大化や持続可能な里山の復興を目指した取組	株式会社リビングファーム広島 【安芸高田市】 令和4年度	
<u>地域の児童数を100人に！</u> 地域の児童数が100人を大幅に下回ることが予想される中、多世代の仲間による地域の魅力発信や、子ども向けの自然体験会など多様なプロジェクトの実施により、「児童数を100人」にすることを目指した取組	100プロ 【北広島町】 令和3年度	
<u>観光地を体験と学びの場に「三段峡野外博物館プロジェクト」</u> 特別名勝「三段峡」の自然環境を活用し、子供達への環境教育プログラムの提供や環境省SDGs研修などを実施し、三段峡を観光地から体験・学びの場へと新たな価値を見出した取組	特例認定NPO法人三段峡一太田川流域研究会 【安芸太田町】 令和元年度	

(2) 専用ホームページ

<https://good-award.jp>